



聖福寺123, 125世、仙厓和尚の筆による
平成29年新春号

発行者「徳門」発行委員会
〒819-0201 福岡市西区大字宮浦1930
徳門寺内

住職挨拶 天野徳道

あけましておめでとうございます。
このたび、しばらく休刊しておりました「徳門」を復活いたしました。ご家族でご拝読ください。
これを機に、お寺に足をお運びいただき、様々な行事や活動にご参加いただいで結びつきを一層深めていければと思っております。寒い日々が続いております。
今後も、いっそう活気のあるお寺作りにつとめていきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

平成28年度行事より

九州西教区花園流無相教会奉詠大会
(6月30日～7月1日)

臨済宗妙心寺派九州西教区主催による上記大会がKKRホテル博多で開催されました。全

18支部が参加し、開会式では全員による熊本地震物故者追悼奉詠(追善御和讃)がありました。徳門寺支部も8名で参加し、「花園会御和讃」を奉詠いたしました。

現在御詠歌部は月2回の稽古に励んでおります。御詠歌を始めたい方は、ぜひ住職までお声掛けください。お待ちしております。



稽古に励む御詠歌部の皆さん

団体参拝(9月13日～15日)

福岡市内の寺院、全10ヶ寺83名による大本山妙心寺への団体参拝旅行が行われ、徳門寺から住職、閑栖ほか檀信徒9名が参加されました。



妙心寺出頭に向かわれる和尚様

た。
当日は大本山妙心寺にて参加された皆様の先祖代々のご供養も行われ、法堂に参拝しました。天井に描かれた狩野探幽の「雲龍図」(重要文化財)は圧巻でした。
また妙心寺内の各寺院や天龍寺(境内は世界文化遺産に指定されています)の壮大な日本庭



退蔵院内を拝観する参拝者の皆さん
園、さらには、普段見る事ができない大徳寺山門にある千利休の木像の拝観では、感動の声があがっていました。



妙心寺内にある退蔵院の庭園(重要文化財)



嵐山の景勝を眺めながら、清らかな保津川の流りに身を任せた船旅も楽しみました。
臨済宗妙心寺派徳門寺の檀信徒として、ご本山との仏縁を深め、充実した旅になったのではないかと思います。参加された檀信徒の皆様、ありがとうございました。

開山忌(10月1日)

徳門寺を開かれた栄西禅師の頂相を飾り、追善法要を執り行いました。



法要後に臨済宗南禅寺派宝満寺住職亀山博一師(神戸市)のご法話をいただきました。



住職とは数十年來の親交を深めていられる宝満寺様は、徳門寺の節目の行事にはご遠方から必ずいらしてください。

(裏面へ)



「『おかげさま』～自然の恩…大自然の恵みの中で～」の研修テーマのもと、大本山妙心寺派遣布教師である静岡県の禅洞寺住職 松島恵定師の法話を拝聴しました。

花園地方大会 (11月15日)

別府亀の井ホテルにて開催され、徳門寺からは3名が参加いたしました。当日は梅林寺(久留米市)の悠江軒老大師、本山の花園会本部長の講話などのほか、徳門寺の年中行事にもお越しただいている、博多の西光寺様による尺八演奏が行われました。



坐禅会のご案内

現在、徳門寺では坐禅会「洗心会(せんしんかい)」を、毎月第1日曜の朝8時～と第3土曜の夜7時～の2回、開催しております。(行事の都合上変更になることもあります。)

～坐禅会の流れ～

- ①坐禅 (10分、15分)
- ②読経
 - 般若心経 (本尊回向)
 - 白隠禅師坐禅和讃 (洗心会会員先祖回向)
 - 三拝
- ③茶礼

本堂で鳥の声を聞きながら、坐禅を通して清々しい気分になれる、と参加者のみなさんは喜んで通って来られます。小学1年生からの会員制(会費無料)で随時受け付けております。椅子による坐禅も可能です。遠慮なくお申し出ください。お申込みは徳門寺(092-809-2817)まで



平成29年 年回忌表

一周忌	平成28年
三回忌	平成27年
七回忌	平成23年
十三回忌	平成17年
二十五回忌	平成5年
三十三回忌	昭和60年
五十回忌	昭和43年

編集後記

久々に寺報を発行するにあたり、あれもこれも、と載せたい記事はあったのですが、取材等の準備が伴わず、師走の準備と並行してのバタバタとした発行となりました。今後はみなさんにもご参加いただける、親しみやすい寺報作りを目指してまいります。発行に関するご意見など、お寄せいただければ幸いです。よろしくお願いたします。



特別布教 (10月19日)

13ヶ寺50名により(徳門寺からは住職ほか4名)博多区御供所町の節信院にて開催され、